

# 高崎商科大との連携協定事業

## 1 目的

令和6年8月20日に本校と高崎商科大学の間で連携協力事業に関する協定を結んだ。

本協定では、両校が有する施設や設備、人材等の活用・交流を通して連携協力することによって、本校が推進する文理を融合して新たな価値の創造に挑む「STEAM人材」の育成に資する教育内容の充実を図るとともに、高崎商科大学が行う教育・研究・社会貢献の充実を図り、将来を担う「STEAM人材」、経営人材等の育成促進並びに両組織の向上を図ることを目的としている。

## 2 概要

ビジネス講座の実施、校内発表会の審査ならびに課題研究内容に対するブラッシュアップ、フィールドワークのコーディネート、他校への探究活動の普及や地域の方との課題の共有や対話の実施などを行った。令和6年度、7年度で実施した事業を紹介する。

- ・高崎高校の課題研究等の講座への講師の派遣（R6年度は5月・9月、R7年度は9月）
- ・高崎高校の課題研究における発表内容のブラ

ッシュアップ（R6年度は夏季休業中、R7年度は10月）

- ・発表会における審査員の派遣（R6年度は8月、R7年度は11月）
- ・高崎高校のフィールドワークにおける指導・助言（R6年度は10月）
- ・高崎高校のフィールドワークにおけるコーディネート・案内（R6年度は12月、R7年度は7月）
- ・地域創造フォーラムでの生徒発表（R6年度は3月）

## 3 成果と課題

ビジネス講座やフィールドワークは専門性を要するため、教員だけでは生徒に適切な情報提供やコーディネートは難しい。そのような現状を、高崎商科大学の連携で解決することができた。

一方で講座やフィールドワーク等の時期については再考する必要がある。生徒の希望に沿う形でフィールドワークを実施することが課題である。

## 文理融合分野 高崎商科大学

### 事業を共創



ビジネス講座  
ビジネスの考え方を  
専門家がレクチャー



高高イノベーション  
アワード  
大学教員・起業家・  
コンサルを審査員  
として派遣



課題研究  
フィールドワーク  
生徒の関心に合わせて  
訪問先をコーディネート

### 普及の場を 共創



社会創造フォーラム  
地域社会・産学官への  
STEAMや探究の理解促進、  
多様な連携を構築